

野村サステナブルセレクト 世界株式型 Bコース（為替ヘッジなし）

野村サステナブルセレクト（世界株式型 Bコース）

運用報告書(全体版)

第4期（決算日2024年6月12日）

作成対象期間（2023年12月13日～2024年6月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年7月29日以降、無期限とします。	
運用方針	グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に運用を行うことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村サステナブルセレクト（世界株式型 Bコース）	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村サステナブルセレクト（世界株式型 Bコース）	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			参 考	指 数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率		期 騰 落 中 率				
(設定日)	円		円	%		%	%	%		百万円
2022年7月29日	10,000		—	—	100.00	—	—	—		2,270
1期(2022年12月12日)	10,158		10	1.7	100.45	0.4	98.2	—		17,898
2期(2023年6月12日)	11,002		10	8.4	111.38	10.9	98.1	—		21,783
3期(2023年12月12日)	11,905		10	8.3	123.25	10.7	98.4	—		21,352
4期(2024年6月12日)	14,582		10	22.6	151.96	23.3	98.5	—		21,106

* 基準価額の騰落率は分配金込み。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指数（＝「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）」）は、MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、基準価額への反映を考慮して、営業日前日のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスを営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。設定時を100として指数化しております。
* MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所) MSCI

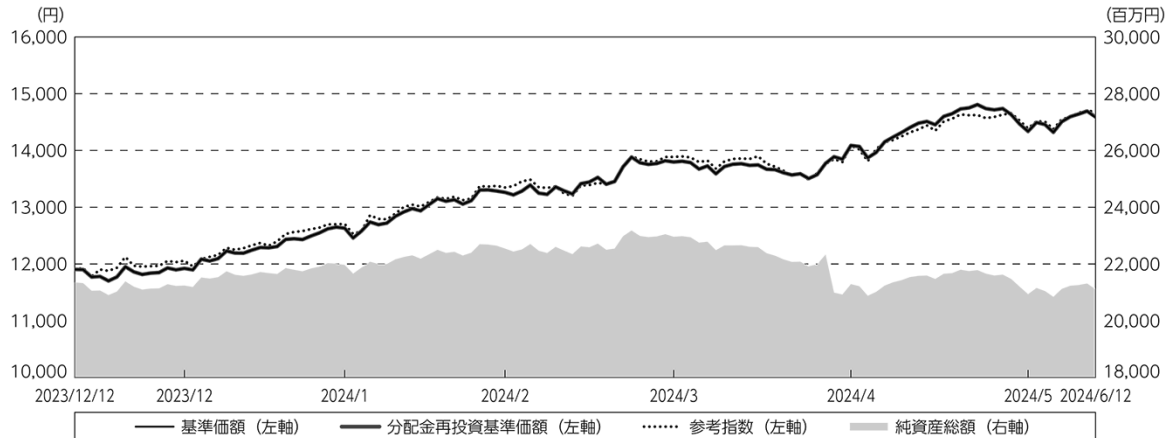
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		参 考	指 数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首)	円	%	%		%	%	%	%
2023年12月12日	11,905	—	—	123.25	—	98.4	—	—
12月末	11,922	0.1	0.1	124.83	1.3	98.3	—	—
2024年1月末	12,631	6.1	6.1	131.52	6.7	98.1	—	—
2月末	13,262	11.4	11.4	138.18	12.1	98.1	—	—
3月末	13,797	15.9	15.9	143.76	16.6	98.5	—	—
4月末	14,088	18.3	18.3	145.83	18.3	98.3	—	—
5月末	14,337	20.4	20.4	148.98	20.9	98.0	—	—
(期 末)								
2024年6月12日	14,592	22.6	22.6	151.96	23.3	98.5	—	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2023年12月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）参考指数は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。参考指数は、作成期首（2023年12月12日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は以下の要因により変動しました。

- （上昇）米大手半導体メーカーが発表した新たなAI（人工知能）関連の半導体への期待感が高まったこと、2023年12月の米PCE（個人消費支出）コア価格指数の伸びが鈍化したこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- （上昇）複数の米大手IT関連企業が10-12月期決算で市場予想を上回る決算を発表したこと、FRB（米連邦準備制度理事会）議長が利下げ開始に前向きな見解を示したこと、2024年3月のユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）速報値が市場予想を上回ったこと、為替市場で円が下落（円安）したこと

- （下落）FOMC（米連邦公開市場委員会）メンバーのインフレ抑制に関する慎重な発言により早期の利下げ期待が後退したこと、中国当局が国内の主要通信事業者に対して外国製半導体の使用を段階的に排除する旨の指示が報道されたこと
- （上昇）1-3月期決算において大手IT企業の業績が市場予想を上回ったことや積極的な株主還元の方針が示されたこと、4月の米雇用統計が市場予想を下回り早期の利下げ期待が高まったこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- （下落）米総合PMI速報値が高水準となりインフレへの警戒感が強まったこと
- （上昇）世界的なAI需要の高まりを受けた米大手半導体企業の上昇にけん引されたこと、米長期金利が低下したこと

○投資環境

・株式市場

世界の株式市場は、当期初、米大手半導体メーカーが発表した新たなAI関連の半導体への期待感が高まり、上昇して始まりました。その後も、FRBがインフレ状況を判断する上で重視するPCEコア価格指数が、2023年12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったことなどが好感され上昇基調で推移しました。2024年2月から3月下旬にかけては、複数の大手IT関連企業が2023年10-12月期決算で市場予想を上回る決算を発表したほか、FRB議長が利下げ開始に前向きな見解を示したことや、3月のユーロ圏総合PMI速報値が市場予想を上回ったことなどが好感され、引き続き上昇しました。その後は、FOMCメンバーがインフレ抑制に関して時間をかけて対応することが賢明だと述べたことにより早期の利下げ期待が後退したことや、中国当局が国内の主要通信事業者に対して外国製半導体の使用を段階的に排除するよう指示していたとの報道などが嫌気されたことなどを背景に下落に転じました。4月下旬から5月下旬にかけては、1-3月期決算において大手IT企業の業績が市場予想を上回ったことや、4月の米雇用統計において雇用者数の増加幅や平均時給の伸び率が市場予想を下回り、早期の利下げへの期待が高まったことなどから、再び上昇しました。当期末にかけては、旺盛なAI向け半導体需要を背景に大手半導体メーカーの5-7月期の売上高見通しが市場予想を大きく上回ったことが好感される一方、米総合PMI速報値が2年超ぶりの高水準となりインフレへの警戒感が強まったことが嫌気され下落しましたが、その後は世界的なAI需要の高まりを背景とした米大手半導体企業の上昇にけん引されたことや米長期金利が低下したことから上昇に転じ、当期において世界の株式市場は上昇しました。

・為替市場

為替市場では、1月から2月にかけて、FRBによる早期利下げ期待の後退などにより日米金利差の拡大期待が高まったことなどから、米ドル高が進行しました。その後、一時円高となる場面もあったものの、米国の3月の食品・エネルギーを除くコアインフレ率が3ヵ月連続で市場予想を上回ったことや、日銀が金融政策の現状維持を決定したことなどを受け、引き続き米ドル高が進行しました。その後、当期末にかけては、4月の米CPI（消費者物価指数）上昇率

が前年同月比で鈍化したことなどを背景に、日米金利差の拡大期待に一服感が出たことなどから、一時円高が進行しましたが、当期を通じては米ドル高・円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村サステナブルセレクト（世界株式型 Bコース）〕

- ・ 主要投資対象である〔グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド〕 受益証券の組み入れを高位に維持しました。
- ・ 当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

〔グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド〕

・ 株式組入比率

当期を通じておおむね高位を維持しました。

・ 期中の主な動き

- （１）業種別配分につきましては、ヘルスケアセクターなどをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）としました。一方、一般消費財・サービスセクターなどをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。
- （２）銘柄につきましては、社会的課題の解決と企業価値の向上の両方が期待できると判断したMICROSOFT CORP（米国、ソフトウェア）、NOVO NORDISK A/S-B（デンマーク、医薬品）、MASTERCARD INC（米国、金融サービス）、TAIWAN SEMICONDUCTOR（台湾、半導体・半導体製造装置）、ASML HOLDING NV（オランダ、半導体・半導体製造装置）などを組入上位銘柄としました。

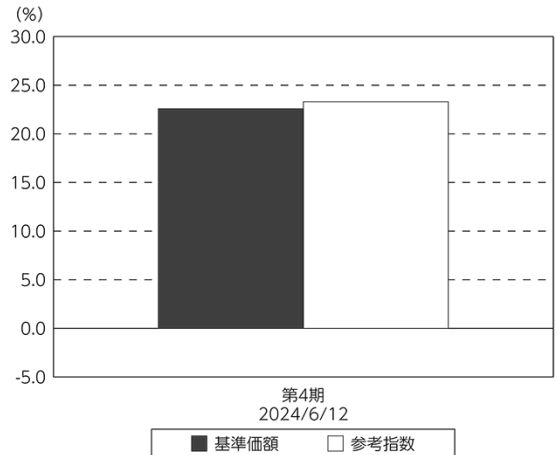
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）の騰落率が23.3%の上昇となったのに対して、基準価額は22.6%の上昇となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案して、次表の通りとさせていただきます。なお留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第 4 期
	2023年12月13日～ 2024年 6月12日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.069%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,582

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

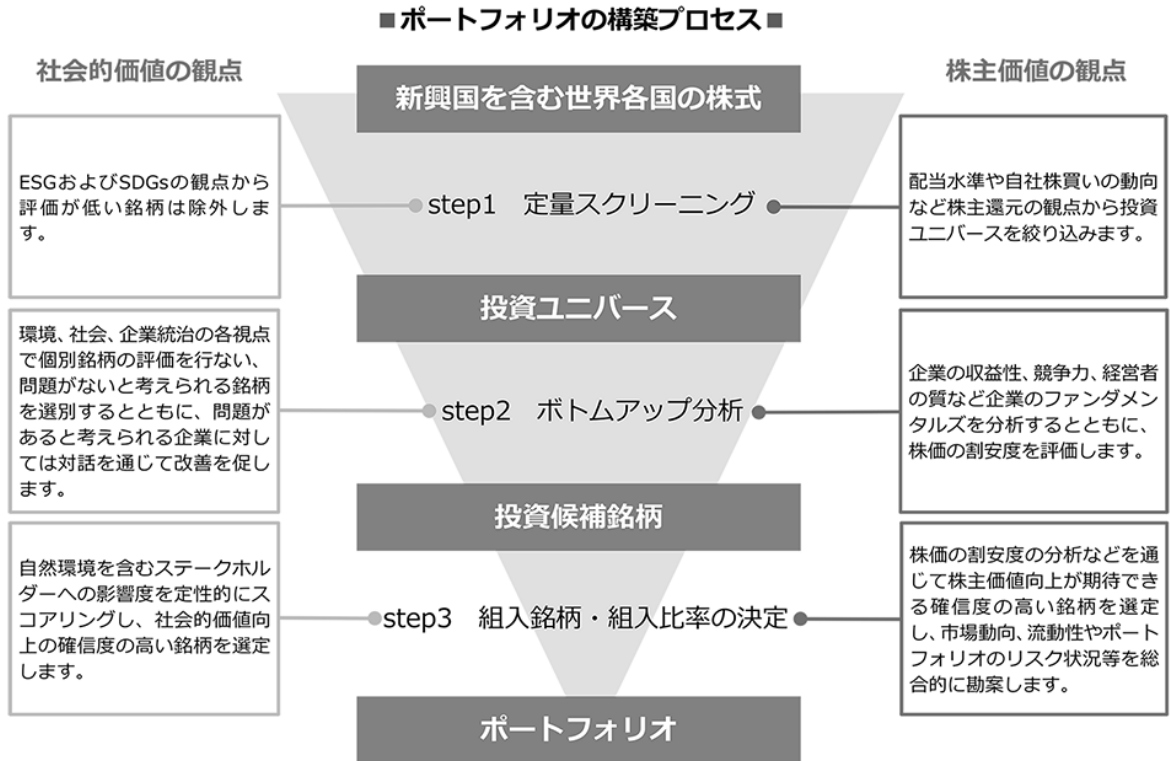
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎（ご参考）当ファンドにおけるESG運用について

ファンドが実質的に組み入れるすべての銘柄はESG特性を重視して選定されています。

○運用プロセス図

[グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド]



※上記ポートフォリオの構築プロセスは、今後変更となる場合があります。

○主要組入銘柄（発行体）の解説とESGが企業価値向上（信用力向上）に資すると判断した根拠 [グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド]

【株式】

・シュナイダーエレクトリック（フランス）

【概要】

電力設備メーカーです。電気自動車向けの充電設備からエネルギー貯蔵施設、データセンター向けの電源ソリューション、ビル管理用の各種製品等、脱炭素社会構築に必要な製品、ソフトウェアの提供を行ないます。環境負荷の少ないインフラ構築が求められる中、同社の製品に対する需要が中長期的に拡大すると見られる点を評価しています。また、金融危機以降、増配や自社株買いを通じて積極的な株主還元を行なっています。

【判断した根拠】

社会の電化、デジタル化、及び効率化を推し進めることが環境負荷の小さい社会の構築に貢献するとの考えのもと、製品の提供を通じてサステナブルな社会の構築を目指しています。同社自身も顧客のCO2排出量削減や製品のリサイクル素材の利用比率向上など多くの目標（シュナイダー・サステナビリティ・インパクト）を掲げることで社会にポジティブなインパクトをもたらす取り組みを行っており、それが顧客の信頼獲得にもつながっています。

・アストラゼネカ（英国）

【概要】

がん治療や循環器、呼吸器疾患、ワクチンの開発などに強みを持つ製薬会社です。近年では難易度が高いとされる新型のがん治療薬の開発に成功したことで、今後、新薬の大型化が期待できる点や製品ポートフォリオが相対的に若く、特許切れの影響を大きく受けない点を評価しています。

【判断した根拠】

すべての人が経済的で持続可能な医療にアクセスできるようにするとの目標の下で積極的な活動を行っており、新型コロナウイルスのパンデミック下では迅速なワクチンのサプライチェーン（供給網）の構築と無利益で製品提供を行なう等、積極的な社会貢献を行ない、その後の収益化にも結びつけています。また、気候変動と生態系の変化そのものが感染症発生リスクを高めるとの見方から、2045年までにネットゼロ（自社および自社の事業活動に関するバリューチェーンで直接的および間接的に排出されるCO2排出量が正味ゼロになっている状態）の達成を掲げて事業を行なっています。

○組入銘柄（発行体）の選定におけるESG特性の重視

[グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド]

- ・ポートフォリオの構築にあたっては、ESGの観点および株主還元の観点で定量評価を行ない投資ユニバースを絞り込み、ファンダメンタルズ分析、バリュエーション分析およびESGへの取り組み等の定性評価により投資候補銘柄を選定し、自然環境を含むステークホルダー※との関係性分析、株価の割安度、市場動向、流動性やポートフォリオのリスク状況等を総合的に勘案して、組入銘柄・組入比率を決定します。
- ・当該プロセスを経ることによって、マザーファンドを構成するすべての銘柄はESG特性を重視して選定されました。

※ステークホルダーとは企業活動の影響を受ける各要素のことを指します。当ファンドでは、当面の間、自然環境、従業員、社会、顧客、サプライヤーなどの株主を除く5つの要素について評価を行ないます。

○社会的インパクトの達成状況

ポートフォリオ1,000万円当たりの投資額により、様々なアウトカム（成果）・インパクト（影響）をもたらしています。ポートフォリオを通じた社会的インパクトの達成状況は以下のようになっています。

[世界株式型]

インパクトゴール	インパクト項目	1,000万円投資あたりの アウトカム（成果）
気候変動の抑制	世界株式指数*よりCO2排出量が少なくなる水準	14.5トンCO ₂
	再生可能エネルギー発電設備への投資金額	205.2米ドル
天然資源の有効活用	工業用金属、貴金属のリサイクルにより回収される高付加価値金属の量	58kg
	ろ過機能付きボトルに置き換えられる使い捨てペットボトルの本数	322.7本
感染症の撲滅	治療を提供される低所得層の患者数	2人
	配布されるワクチンの本数	14.8本
生活習慣病の改善	治療を提供される糖尿病の患者数	0.3人
	医療保険を提供される人数	0.8人
基本的な金融サービスの提供	モバイル決済を利用可能になる人数	4.4人
	金融サービスを提供される人数	9.9人
安全な飲料水の提供	提供される安全な飲料水の量	156.8リットル
	衛生支援プログラムと水アクセスプログラムを通じて安全な飲料水を利用する人数	7.9人

※MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス

＜インパクトの算出について＞

インパクトの数値は、2022年12月末時点での組入銘柄の比率を基に算出しており、情報入手できる全ての投資先企業にわたって集計しています（同時点のブルームバーグデータに基づき円換算。）。当報告書に記載されている株式戦略のインパクト情報は、ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドが合理的と考える情報源から作成したものです。CO2排出量はISS ESG社のレポートを基に算出しています。ISS ESG社は、開示されている企業のデータおよび同社の推計によって、指数とポートフォリオの排出量を算出しています。企業により集計・報告されているインパクト関連データは標準化されておらず、画一的に使用されている手法は未だ確立されていないため、実態とは異なる場合があります。株式戦略におけるCO2排出水準の数値はMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスの構成銘柄と比較した場合のもので、課題解決のために目指すインパクトは見直される場合があります。

インパクトの数値は過去のデータに基づいて算出または試算しており、投資することによって新たに創出が期待できるインパクトを示唆あるいは保証するものではありません。対象企業または発行体が通年でもたらしたと考えられるインパクトに対し、上記算出時点でのポートフォリオにおける対象企業または発行体の株式の保有比率を基に算出をしているため、インパクトの絶対数の増加に貢献するものでもなく、またその値を示唆あるいは保証するものではありません。すべてのインパクトの数値はそれぞれ一定の仮定の基で算出した概算値であり、正確性を担保するものではありません。また、企業等によって作成されるデータの前提が異なるケースがあること、企業等の測定および報告方法が同一ではないこと等から、インパクトの数値の一貫性の確保は困難な傾向にあります。インパクトの数値は一部、推定値も含まれていますが、本質的なインパクトを理解するために最善の努力を払って作成を行なっています。また、インパクトの数値に関しては、独立機関に検証を受けてはいません。

＜指数について＞

- ・MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○スチュワードシップ活動

ファンドでは、投資先企業の企業価値向上及び発行体のサステナビリティ（持続可能性）向上のために、エンゲージメントや議決権行使等のスチュワードシップ活動に取り組んでいます。野村アセットマネジメントは日本版スチュワードシップ・コードに署名しており、2011年には国連責任投資原則にも署名しています。また、ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドはUK Stewardship Codeに準拠した運営を行なっています。

野村アセットマネジメントのスチュワードシップ活動およびノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドのエンゲージメント活動の詳細は、以下のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

* 野村アセットマネジメントのスチュワードシップ活動

以下のサイト（「野村アセットマネジメントの責任投資」）にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/>

* ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドのエンゲージメント活動

以下のサイト（「野村アセットマネジメントの責任投資」）より、ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドのサイト（英語）にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/>

◎今後の運用方針

〔野村サステナブルセレクト（世界株式型 Bコース）〕

主要投資対象である〔グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

〔グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド〕

・投資環境

米国経済は、堅調に推移しています。5月の非農業部門雇用者数は前月差27.2万人増加し、時間当たり賃金上昇率も前年同月比4.1%増となり、雇用環境は良好です。一方、インフレ率は引き続き高いものの鈍化傾向にあり、FOMCは、今後の金融政策変更は利下げである旨の情報発信を継続しています。これまでの利上げ効果が企業業績や米国経済にどのような影響を与えるのか注視が必要です。

・運用方針

当戦略では、社会的価値と企業価値の向上を同時達成する銘柄に投資を行ないます。運用にあたりましては、ファンダメンタルズ（基礎的条件）分析、バリュエーション（投資価値評価）分析およびESG（環境・社会・企業統治）への取り組み等の定性評価により投資候補銘柄を選定し、自然環境を含むステークホルダーとの関係性分析、株価の割安度、市場動向、流動性やポートフォリオのリスク状況等を総合的に勘案して、組入銘柄・組入比率を決定してまいります。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年12月13日～2024年 6 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 98	% 0.731	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(48)	(0.358)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(48)	(0.358)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.014	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.014)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.012)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.006	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	103	0.763	
期中の平均基準価額は、13,339円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

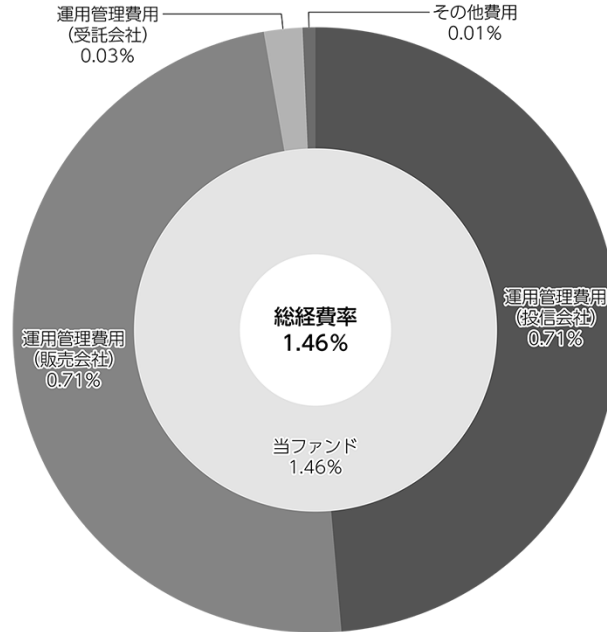
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年12月13日～2024年 6月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド	91,247	119,045	3,588,254	4,957,466

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年12月13日～2024年 6月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	17,525,763千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	52,023,037千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.33

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年12月13日～2024年 6月12日)

利害関係人との取引状況

<野村サステナブルセレクト（世界株式型 Bコース）>
該当事項はございません。

<グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	2,287	164	7.2	12,184	164	1.3

平均保有割合 41.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2024年 6 月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド	17, 505, 463	14, 008, 456	21, 064, 516

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年 6 月12日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド	21, 064, 516	98. 5
コール・ローン等、その他	323, 731	1. 5
投資信託財産総額	21, 388, 247	100. 0

*金額の単位未満は切り捨て。

*グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（52,448,196千円）の投資信託財産総額（52,710,925千円）に対する比率は99.5%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1 米ドル＝157.21円、1 英ポンド＝200.19 円、1 デンマーククローネ＝22.63円、1 ユーロ＝168.78円、1 香港ドル＝20.13円、1 ルピア＝0.0097円、1 新台湾ドル＝4.8531円、1 インドルピー＝1.89円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年6月12日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	21,388,247,997
コール・ローン等	323,730,982
グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド(評価額)	21,064,516,284
未収利息	731
(B) 負債	281,521,286
未払収益分配金	14,474,286
未払解約金	106,591,701
未払信託報酬	160,094,243
その他未払費用	361,056
(C) 純資産総額(A－B)	21,106,726,711
元本	14,474,286,006
次期繰越損益金	6,632,440,705
(D) 受益権総口数	14,474,286,006口
1万口当たり基準価額(C／D)	14,582円

(注) 期首元本額は17,935,503,165円、期中追加設定元本額は394,771,281円、期中一部解約元本額は3,855,988,440円、1口当たり純資産額は1.4582円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額95,490,244円。(グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド)

○損益の状況（2023年12月13日～2024年6月12日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	41,103
受取利息	45,067
支払利息	△ 3,964
(B) 有価証券売買損益	4,002,228,239
売買益	4,584,757,606
売買損	△ 582,529,367
(C) 信託報酬等	△ 160,455,299
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	3,841,814,043
(E) 前期繰越損益金	2,525,020,747
(F) 追加信託差損益金	280,080,201
(配当等相当額)	(169,719,532)
(売買損益相当額)	(110,360,669)
(G) 計(D＋E＋F)	6,646,914,991
(H) 収益分配金	△ 14,474,286
次期繰越損益金(G＋H)	6,632,440,705
追加信託差損益金	280,080,201
(配当等相当額)	(170,548,241)
(売買損益相当額)	(109,531,960)
分配準備積立金	6,352,360,504

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2023年12月13日～2024年6月12日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年12月13日～ 2024年6月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	197,421,717円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	3,644,392,326円
c. 信託約款に定める収益調整金	280,080,201円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,525,020,747円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	6,646,914,991円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,592円
g. 分配金	14,474,286円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

2024年11月 5 日より、ファンドの設定解約の申込締切時間は以下の記載のとおり変更となる予定です。

原則、午後 3 時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2024年6月12日現在）

<グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド>

下記は、グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド全体(34,990,634千口)の内容です。

外国株式

銘柄		株数	期首(前期末)		当期末		業種等
			株数	株数	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円		
ADOBE INC		194	248	11,502	1,808,303	ソフトウェア	
ALPHABET INC-CL A		778	668	11,802	1,855,491	インタラクティブ・メディアおよびサービス	
BECTON, DICKINSON		364	402	9,463	1,487,775	ヘルスケア機器・用品	
BOSTON SCIENTIFIC CORP		2,385	1,790	13,813	2,171,555	ヘルスケア機器・用品	
CVS HEALTH CORP		1,162	784	4,706	739,845	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
CISCO SYSTEMS		1,908	71	329	51,735	通信機器	
EVERSOURCE ENERGY		858	—	—	—	電力	
FIDELITY NATIONAL INFORMATION		805	802	6,082	956,178	金融サービス	
GILEAD SCIENCES INC		826	720	4,677	735,344	バイオテクノロジー	
ELI LILLY & CO.		83	75	6,570	1,032,981	医薬品	
MASTERCARD INC		347	303	13,624	2,141,879	金融サービス	
MICROSOFT CORP		425	408	17,680	2,779,567	ソフトウェア	
NEXTERA ENERGY INC		1,793	1,591	11,580	1,820,513	電力	
PAYCHEX INC		753	749	9,282	1,459,298	専門サービス	
SMITH (A.O.) CORP		984	825	6,732	1,058,490	建設関連製品	
TETRA TECH INC		557	544	11,256	1,769,664	商業サービス・用品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC		233	181	10,450	1,642,950	ライフサイエンス・ツール/サービス	
UNITEDHEALTH GROUP INC		217	226	11,242	1,767,411	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
VISA INC-CLASS A SHARES		415	379	10,410	1,636,641	金融サービス	
JOHNSON CONTROLS INTERNATIONAL PLC		2,244	2,210	15,591	2,451,169	建設関連製品	
PENTAIR PLC		1,300	1,118	8,716	1,370,324	機械	
小計		株数・金額	18,640	14,104	195,516	30,737,124	
		銘柄数<比率>	21	20	—	<58.4%>	
(イギリス)				千英ポンド			
ASTRAZENECA PLC		743	720	8,922	1,786,289	医薬品	
NATIONAL GRID PLC		4,662	5,442	4,695	940,067	総合公益事業	
GSK PLC		2,782	2,184	3,527	706,170	医薬品	
小計		株数・金額	8,188	8,347	17,146	3,432,527	
		銘柄数<比率>	3	3	—	<6.5%>	
(スイス)				千スイスフラン			
NESTLE SA-REG		544	—	—	—	食品	
小計		株数・金額	544	—	—	—	
		銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
(デンマーク)				千デンマーククローネ			
NOVO NORDISK A/S-B		1,287	1,168	114,791	2,597,740	医薬品	
小計		株数・金額	1,287	1,168	114,791	2,597,740	
		銘柄数<比率>	1	1	—	<4.9%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ			
SAP SE		646	549	9,632	1,625,733	ソフトウェア	
ALLIANZ SE-REG		354	303	7,760	1,309,833	保険	
小計		株数・金額	1,001	852	17,392	2,935,567	
		銘柄数<比率>	2	2	—	<5.6%>	
(ユーロ…フランス)							
SCHNEIDER ELECTRIC SE		536	382	8,642	1,458,736	電気設備	

銘柄		株数	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
			株数	評価額	外貨建金額		邦貨換算金額
(ユーロ…フランス)			百株	百株	千ユーロ	千円	保険
AXA SA			2,991	2,859	9,092	1,534,607	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,527 2	3,241 2	17,735 —	2,993,343 <5.7%>	
(ユーロ…イギリス)							パーソナルケア用品
UNILEVER PLC			1,120	—	—	—	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,120 1	— —	— —	— <—%>	
(ユーロ…スイス)							化学
DSM-FIRMENICH AG			513	59	584	98,682	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	513 1	59 1	584 —	98,682 <0.2%>	
(ユーロ…オランダ)							半導体・半導体製造装置
ASML HOLDING NV			176	139	13,389	2,259,875	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	176 1	139 1	13,389 —	2,259,875 <4.3%>	
(ユーロ…スペイン)							電力
IBERDROLA SA			—	5,274	6,369	1,075,013	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	5,274 1	6,369 —	1,075,013 <2.0%>	
(ユーロ…ベルギー)							化学
UMICORE			1,450	1,224	2,000	337,692	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,450 1	1,224 1	2,000 —	337,692 <0.6%>	
ユーロ計		株数・金額 銘柄数<比率>	7,789 8	10,792 8	57,472 —	9,700,175 <18.4%>	
(香港)					千香港ドル		保険
AIA GROUP LTD			11,601	9,134	52,246	1,051,725	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	11,601 1	9,134 1	52,246 —	1,051,725 <2.0%>	
(インドネシア)					千ルピア		銀行
BANK RAKYAT INDONESIA			200,398	216,190	93,826,720	910,119	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	200,398 1	216,190 1	93,826,720 —	910,119 <1.7%>	
(台湾)					千新台幣ドル		半導体・半導体製造装置
TAIWAN SEMICONDUCTOR			6,910	5,589	493,508	2,395,047	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,910 1	5,589 1	493,508 —	2,395,047 <4.6%>	
(インド)					千インドルピー		銀行
HDFC BANK LIMITED			3,233	3,823	598,363	1,130,907	
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,233 1	3,823 1	598,363 —	1,130,907 <2.1%>	
合	計	株数・金額 銘柄数<比率>	258,594 38	269,150 36	— —	51,955,365 <98.7%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

グローバル・サステナブル・エクイティ マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日2023年12月12日）

作成対象期間（2022年7月29日～2023年12月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に運用を行なうことを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率		期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	%		%	%	%	百万円
2022年 7 月29日	10,000	—	100.00	—	—	—	14,747
1 期(2023年12月12日)	12,173	21.7	123.25	23.2	98.6	—	51,323

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指数（＝「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）」）は、MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、基準価額への反映を考慮して、営業日前日のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスを営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

*MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) MSCI

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(設定日)	円	%		%	%	%
2022年 7 月29日	10,000	—	100.00	—	—	—
8 月末	9,939	△ 0.6	100.94	0.9	99.2	—
9 月末	9,381	△ 6.2	95.56	△ 4.4	97.9	—
10 月末	10,188	1.9	103.35	3.4	98.0	—
11 月末	10,166	1.7	101.67	1.7	97.8	—
12 月末	9,734	△ 2.7	95.66	△ 4.3	98.0	—
2023年 1 月末	9,992	△ 0.1	99.78	△ 0.2	97.6	—
2 月末	10,213	2.1	102.23	2.2	98.5	—
3 月末	10,300	3.0	101.85	1.9	98.9	—
4 月末	10,605	6.1	104.15	4.1	96.9	—
5 月末	11,006	10.1	109.13	9.1	97.8	—
6 月末	11,752	17.5	117.48	17.5	99.0	—
7 月末	11,824	18.2	119.35	19.4	98.7	—
8 月末	12,041	20.4	120.87	20.9	98.9	—
9 月末	11,660	16.6	118.26	18.3	98.8	—
10 月末	11,422	14.2	114.35	14.3	98.6	—
11 月末	12,122	21.2	122.79	22.8	98.6	—
(期 末)						
2023年12月12日	12,173	21.7	123.25	23.2	98.6	—

*騰落率は設定日比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。参考指数は、設定時を10,000として計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末12,173円となりました。

- (上昇) 2022年7月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が6月と比較して減速したこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- (下落) インフレが抑制されるまで利上げを継続するという米金融当局の姿勢が改めて示されたこと、米長期金利が上昇したこと
- (上昇) 一部メディアが、米金融当局が年内に利上げペースの減速を協議する可能性を報じたこと、10月の米CPI上昇率やPPI（生産者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったこと
- (下落) 12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で市場予想通りに利上げ幅縮小が実現したものの、継続利上げの必要性を強調するパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言をきっかけに、景気後退と企業収益悪化への警戒が高まったこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと、米長期金利が上昇したこと
- (上昇) FRBの金融引き締め長期化への警戒が和らいだこと、中国のゼロコロナ政策の事実上の終了が好感されたこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- (下落) 米金融機関の経営破綻やスイスの大手金融グループの経営不安をきっかけに信用不安が広がったこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと

- (上昇) 米国の利上げ打ち止め期待が高まったこと、米大手半導体企業の2023年5-7月期の業績見通しが市場予想を大きく上回ったこと、5月の米CPI上昇率に減速感が見られたこと、米大手金融機関などの4-6月期決算が市場予想を上回ったこと、為替市場で円が下落(円安)したこと
- (下落) 9月のFOMCにおいて政策金利の据え置きが決定されたものの、年内に追加利上げを行ない、高い金利水準の維持が示唆されたこと、米大手IT企業の決算において先行き不透明感が強まったこと、米長期金利が上昇したこと
- (上昇) 7-9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだこと、英中央銀行が政策金利水準を据え置いたこと

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 業種別配分につきましては、ヘルスケアセクターなどをオーバーウェイト(参考指数に比べ高めの投資比率)としました。一方、一般消費財・サービスセクターなどをアンダーウェイト(参考指数に比べ低めの投資比率)としました。
- (2) 銘柄につきましては、社会的課題の解決と企業価値の向上の両方が期待できると判断したMICROSOFT CORP(米国、ソフトウェア)、MASTERCARD INC(米国、金融サービス)、THERMO FISHER SCIENTIFIC INC(米国、ライフサイエンス・ツール/サービス)、JOHNSON CONTROLS INTERNATIONAL PLC(米国、建設関連製品)、NEXTERA ENERGY INC(米国、電力)などを組入上位銘柄としました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

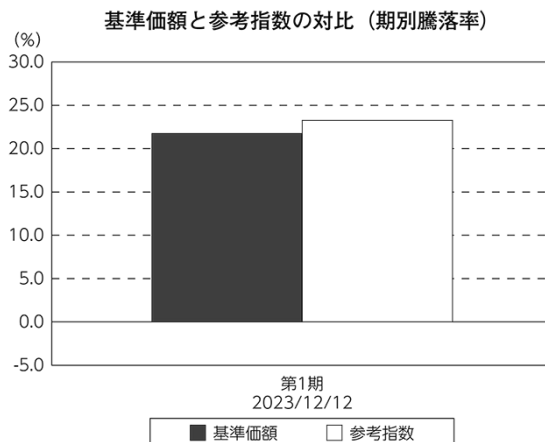
参考指数としているMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）の騰落率が23.2%の上昇となったのに対して、基準価額は21.7%の上昇となりました。

（主なプラス要因）

- ①ヘルスケアセクター内での銘柄選択効果がプラスに寄与したこと
- ②皮下注射が中心だった糖尿病治療において経口投与型（飲み薬）の新薬開発に成功し、高い市場シェアを獲得している点を評価してオーバーウェイトとしていたデンマークの医薬品株や、事業の柱をこれまでのソフトウェアライセンスの販売からサブスクリプション（定期購入）型モデルに移行することで収益の質が向上している点を評価してオーバーウェイトとしていたドイツのソフトウェア株などの株価騰落率が参考指数を上回ったこと

（主なマイナス要因）

- ①素材セクター内での銘柄選択効果がマイナスに影響したこと
- ②脱炭素社会の構築を目指すにあたって多くの投資機会を有し、その成長余地の大きさが評価できることからオーバーウェイトとしていた米国の電力株や、製薬事業に必要な不可欠な分析機器を扱い、消耗品の提供により安定的な収益を獲得する仕組みを構築している点を評価してオーバーウェイトとしていた米国のライフサイエンス・ツール/サービス株などの株価騰落率が参考指数を下回ったこと



（注）参考指数は、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

・投資環境

米国経済は、雇用環境は底堅く推移しているものの、好調だった個人消費に陰りがみられるなど減速感もみられます。また、10月のCPI上昇率は前年同月比+3.2%と前月から鈍化しました。このため、10月のFOMCでは利上げが見送られ、今後の追加利上げの必要性は低下しているとの見方も出ています。これまでの利上げ効果が企業業績や米国経済にどのような影響を与えるのか注視が必要です。

欧州経済は、ユーロ圏製造業PMI（購買担当者景気指数）が1年間以上にわたり景気判断の基準となる50を下回るなど、景気の低迷が続いていますが、一部指標には明るい兆しが表れ始めています。また、11月の独CPI上昇率は前年同月比+2.3%と前月から大きく鈍化しています。これら足元の景気や物価の動向がECB（欧州中央銀行）の金融政策決定に与える影響に注目しています。

・運用方針

当戦略では、社会的価値と企業価値の向上を同時達成する銘柄に投資を行ないます。運用にあたりましては、ファンダメンタルズ（基礎的条件）分析、バリュエーション（投資価値評価）分析およびESG（環境・社会・企業統治）への取り組み等の定性評価により投資候補銘柄を選定し、自然環境を含むステークホルダーとの関係性分析、株価の割安度、市場動向、流動性やポートフォリオのリスク状況等を総合的に勘案して、組入銘柄・組入比率を決定してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 7 月29日～2023年12月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 10 (10)	% 0.093 (0.093)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	9 (9)	0.081 (0.081)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.017 (0.017) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	21	0.191	
期中の平均基準価額は、10,726円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月29日～2023年12月12日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 63	千円 1,470,244	千株 63	千円 1,648,695
	アメリカ	百株 27,009 (54)	千米ドル 274,133 (ー)	百株 8,423	千米ドル 87,097
外 国	イギリス	9,602	千英ポンド 19,915	1,414	千英ポンド 2,613
	スイス	745	千スイスフラン 8,574	201	千スイスフラン 2,157
	デンマーク	1,066 (727)	千デンマーククローネ 88,700 (ー)	505	千デンマーククローネ 45,689
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,400	17,296	398	5,980
	フランス	5,088	19,703	1,560	5,999
	イギリス	1,386	6,478	266	1,243
	スイス	15 (658)	130 (8,347)	159	1,415
	オランダ	886	19,601	51 (658)	2,263 (8,452)
	ベルギー	1,521	5,162	70	213
	香港	15,955	千香港ドル 119,524	4,354	千香港ドル 35,233
	インドネシア	220,398	千ルピア 99,074,048	20,000	千ルピア 10,861,550
	台湾	7,620	千新台幣ドル 389,818	710	千新台幣ドル 39,326
	インド	2,110 (1,434)	千インドルピー 542,855 (ー)	310	千インドルピー 49,546
	ケニア	246,131	千ケニアシリング 726,916	246,131	千ケニアシリング 411,448

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年7月29日～2023年12月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	81,504,229千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	45,640,319千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.78

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月29日～2023年12月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	62,077	24	0.0	19,427	—	—
為替直物取引	55,768	2,239	4.0	14,343	2,239	15.6

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	40,990千円
うち利害関係人への支払額 (B)	12千円
(B) / (A)	0.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2023年12月12日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期末 評価額		業種等
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	194	12,165	1,774,650	ソフトウェア
ALPHABET INC-CL A	778	10,371	1,512,983	インタラクティブ・メディアおよびサービス
BECTON, DICKINSON	364	8,511	1,241,691	ヘルスケア機器・用品
BOSTON SCIENTIFIC CORP	2,385	13,180	1,922,836	ヘルスケア機器・用品
CVS HEALTH CORP	1,162	8,576	1,251,185	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
CISCO SYSTEMS	1,908	9,426	1,375,112	通信機器
EVERSOURCE ENERGY	858	5,216	760,949	電力
FIDELITY NATIONAL INFORMATION	805	4,731	690,254	金融サービス
GILEAD SCIENCES INC	826	6,623	966,192	バイオテクノロジー
ELI LILLY & CO.	83	4,901	714,996	医薬品
MASTERCARD INC	347	14,431	2,105,248	金融サービス
MICROSOFT CORP	425	15,804	2,305,597	ソフトウェア
NEXTERA ENERGY INC	1,793	10,706	1,561,843	電力
PAYCHEX INC	753	9,428	1,375,365	専門サービス
SMITH (A. O.) CORP	984	7,681	1,120,642	建設関連製品
TETRA TECH INC	557	9,214	1,344,232	商業サービス・用品
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	233	11,570	1,687,960	ライフサイエンス・ツール/サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	217	11,828	1,725,592	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	415	10,657	1,554,736	金融サービス
JOHNSON CONTROLS INTERNATIONAL PLC	2,244	12,699	1,852,547	建設関連製品
PENTAIR PLC	1,300	8,754	1,277,170	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	18,640 21	206,483 — <58.7%>	
(イギリス)		千英ポンド		
ASTRAZENECA PLC	743	7,502	1,374,858	医薬品
NATIONAL GRID PLC	4,662	4,958	908,618	総合公益事業
GSK PLC	2,782	4,027	738,085	医薬品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,188 3	16,488 — <5.9%>	
(スイス)		千スイスフラン		
NESTLE SA-REG	544	5,386	894,675	食品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	544 1	5,386 — <1.7%>	
(デンマーク)		千デンマーククローネ		
NOVO NORDISK A/S-B	1,287	86,181	1,814,984	医薬品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,287 1	86,181 — <3.5%>	
(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ		
SAP SE	646	9,524	1,495,323	ソフトウェア
ALLIANZ SE-REG	354	8,706	1,366,966	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,001 2	18,231 — <5.6%>	
(ユーロ…フランス)				
SCHNEIDER ELECTRIC SE	536	9,472	1,487,173	電気設備
AXA SA	2,991	8,991	1,411,649	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,527 2	18,463 — <5.6%>	

銘 柄		当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…イギリス)		百株	千ユーロ	千円	パーソナルケア用品
UNILEVER PLC		1,120	4,947	776,796	
小	計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,120 4,947	776,796 <1.5%>	
(ユーロ…スイス)					化学
DSM-FIRMENICH AG		513	4,528	711,032	
小	計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	513 4,528	711,032 <1.4%>	
(ユーロ…オランダ)					半導体・半導体製造装置
ASML HOLDING NV		176	11,623	1,824,813	
小	計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	176 11,623	1,824,813 <3.6%>	
(ユーロ…ベルギー)					化学
UMICORE		1,450	3,497	549,136	
小	計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,450 3,497	549,136 <1.1%>	
ユ ー ロ 計		株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	7,789 8	61,292 —	9,622,891 <18.7%>
(香港)			千香港ドル		保険
AIA GROUP LTD		11,601	73,724	1,377,911	
小	計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	11,601 73,724	1,377,911 <2.7%>	
(インドネシア)			千ルピア		銀行
BANK RAKYAT INDONESIA		200,398	106,211,258	998,385	
小	計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	200,398 1	106,211,258 —	
(台湾)			千新台幣ドル		半導体・半導体製造装置
TAIWAN SEMICONDUCTOR		6,910	396,634	1,835,820	
小	計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	6,910 1	396,634 —	
(インド)			千インドルピー		銀行
HDFC BANK LIMITED		3,233	533,916	939,693	
小	計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	3,233 1	533,916 —	
合	計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	258,594 38	— —	50,627,715 <98.6%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2023年12月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	50,627,715	98.6
コール・ローン等、その他	729,393	1.4
投資信託財産総額	51,357,108	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。
*当期末における外貨建純資産（51,068,419千円）の投資信託財産総額（51,357,108千円）に対する比率は99.4%です。
*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝145.88円、1英ポンド＝183.25円、1スイスフラン＝166.09円、1デンマーククローネ＝21.06円、1ユーロ＝157.00円、1香港ドル＝18.69円、1ルビア＝0.0094円、1新台湾ドル＝4.6285円、1インドルピー＝1.76円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	51,357,108,796
コール・ローン等	448,747,372
株式(評価額)	50,627,715,987
未収入金	223,263,504
未収配当金	57,381,933
(B) 負債	33,500,085
未払解約金	33,500,000
未払利息	85
(C) 純資産総額(A－B)	51,323,608,711
元本	42,160,667,812
次期繰越損益金	9,162,940,899
(D) 受益権総口数	42,160,667,812口
1万口当たり基準価額(C／D)	12,173円

(注) 期首元本額は14,747,924,134円、期中追加設定元本額は51,677,813,771円、期中一部解約元本額は24,265,070,093円、1口当たり純資産額は1.2173円です。
(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・野村サステナブルセレクト（世界株式型 Bコース） 17,505,463,432円
・グローバル・サステナブル・エクイティ・オープン投信（適格機関投資家専用） 9,862,305,039円
・野村サステナブルセレクト（世界株式型 Aコース） 6,939,068,526円
・野村サステナブルセレクト（世界バランス型 Bコース） 5,127,005,248円
・野村サステナブルセレクト（世界バランス型 Aコース） 1,886,764,923円
・グローバル・サステナブル・エクイティ・オープン（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用） 840,060,644円

○損益の状況 (2022年7月29日～2023年12月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,081,465,528
受取配当金	1,080,211,778
受取利息	1,696,807
その他収益金	16,151
支払利息	△ 459,208
(B) 有価証券売買損益	8,752,133,726
売買益	13,195,040,689
売買損	△ 4,442,906,963
(C) 保管費用等	△ 7,623,734
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	9,825,975,520
(E) 追加信託差損益金	2,120,894,983
(F) 解約差損益金	△ 2,783,929,604
(G) 計(D＋E＋F)	9,162,940,899
次期繰越損益金(G)	9,162,940,899

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。